

自営業・フリーランスの方など

年金制度活用法 老後の収入の増やし方

「しっかり貯めて、それを老後の生活費として取り崩していく」（図表1）これがいままでの老後資金の常識でした。

その常識では、長生きすると積立金が尽きてしまいます。長期化する寿命（図表2）に備え、国民年金加入者の年金制度活用法を考えてみましょう。

■「損得論」より「年金制度」を活用

長生きリスクは、早世した場合は問題とならず、想定より長生きしたため用意していた資金が枯渇するような、一方向への危険性を示すのが特徴的です。

- ・ 想定を下回った場合にリスクは発生しない
- ・ 想定を越えた場合にリスクが発生する

投資のように、期待リターンを上回る場合も下回る場合もリスクと考えることとは少し異なります。

老後資金を準備するときは、何歳で元を取るか「損得」を意識するのではなく、想定を越えて長生きしたときに対応できる方法「年金制度」を活用することが人生100年時代のリスクマネジメントの基本です。

■自営業・フリーランスの特徴を活かす

定年がない自営業の特徴を活かし「国民年金の繰下げ受給」、専従者の掛金も所得控除できる国民年金基金の活用で会社員並みの終身年金が確保できます。（図表3）

国民年金基金については、裏面をご覧ください。

この資料についてのお問い合わせは

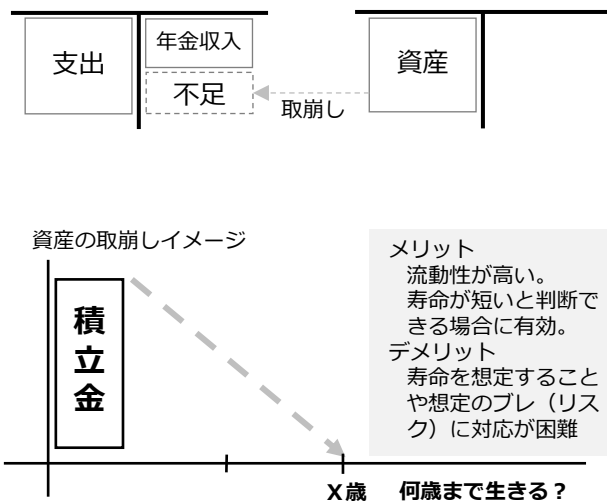
全国国民年金基金東北支部

宮城県仙台市青葉区中央4丁目10番3号

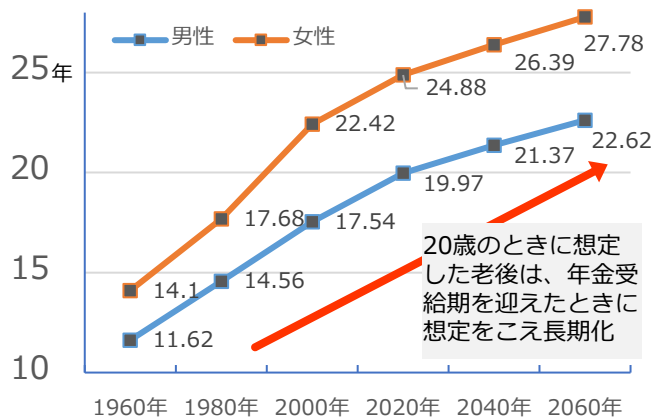
JMFビル仙台01-12階

Tel 050-3665-0197

図表1 老後の収入支出イメージ



図表2 65歳から何年生きるか？



※第23回生命表（完全生命表）、将来人口推計（令和5年、中位推計）に基づき全国国民年金基金東北支部作成

図表3 国民年金+国民年金基金の活用例



※1 総務省統計局「2023年家計調査 家計収支編」

国民年金基金

公的な年金ならではの **5**つのメリット

老後資金の絶対条件 **終身年金**

老後資金は「消費」が前提なので一生涯お金を受け取れることが条件です。国民年金基金は終身年金なので安心です。

確定給付なので安心

人生は100年時代。長期だからこそ資金の準備は確実に。経済変動や運用結果で年金額が下がるリスクはありません。

税制上の優遇

掛金は全額社会保険料控除の対象となり、確定申告で税金が軽減されます。

万が一のときは**家族に一時金**

万が一早期に亡くなったときでも、遺族保証があるため掛け捨てになりません。

お支払いが困難なときも安心

加入口数は増減自由。掛金のお支払いが困難なときは休むこともできます。いつでも再開できるので、収入が一定でない場合も安心です。

国民年金基金に加入できる方

20歳以上60歳未満の場合

国民年金の第1号被保険者は国民年金基金に加入できます

※国民年金保険料を支払い忘れたり、免除や納付猶予されていた場合でも、加入時点から国民年金保険料を納付すれば国民年金基金にご加入いただけます。

60歳以上65歳未満の場合

国民年金に任意加入※している場合、国民年金基金に加入できます

※60歳までに老齢基礎年金の受給資格を満たしていない場合や、納付済期間が40年未満の場合、国民年金に任意加入することができます。

国民年金基金の資料請求は、下の枠内に必要事項を記入のうえ、商工会議所までFAXしてください。

【FAX番号：0182-33-5642】

横手商工会議所 あて

フリガナ 氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日	性別	男・女
住所	〒							
電話番号		備考 (連絡希望日時など)						

横手商工会議所

〒013-0036 秋田県横手市駅前町6-33
TEL 0182-32-1170 FAX 0182-33-5642

※全国国民年金基金東北支部より資料などが上記住所へ送付されます。

※全国国民年金基金または全国国民年金基金から委託を受けた者から国民年金基金に関する情報提供や勧奨が行われる場合があります。

※個人情報厳正な管理の下、国民年金基金に関する情報提供や加入勧奨の目的以外に利用することはありません。